

## QoS 対応無線パケットスケジューラ

2006年4月、KDDI 研究所は、モバイル WiMAX に適用可能な「無線パケットスケジューラ」を開発した。

無線パケットスケジューラとは、基地局が受け取った各種パケットを、事前に定めた優先順位に従って送り出す、すなわち、VoIP のように途切れることが許されないパケットを優先して送り出すなどにより、VoIP、電子メール、インターネットアクセス、ファイル転送などさまざまなアプリケーションを、それぞれの要求品質を満足させた上で、効率よく提供するためのパケット選定アルゴリズムである。

開発したスケジューラでは、モバイル WiMAX で要求される、アプリケーションの種類によって異なる多種多様な要求 QoS にきめ細かく対応し、利用可能な無線帯域を効率よく使用して無駄のない無線パケットの割り当てを実現した。具体的には、一定の帯域の中にパケットを詰め込むルールの改善を図り、モバイル WiMAX による低コストかつ高品質な通信サービスの提供を可能とした。